「住みよい街」東京・千代田区が首位　日経BP総研調べ

#東京 #千葉 #関東

2022/8/22 16:17

日経BP総研が22日発表した「シティブランド・ランキング　住みよい街2022」で、東京都千代田区が全国トップとなった。東京都の武蔵野市（2位）や府中市（3位）など、トップ5のうち4つを都内の市や区が占めた。

調査によると、千代田区は「医療・介護」と「自治体の運営」などが高評価。自治体の発信力や、公共交通機関・文化施設などの都市機能も評価された。武蔵野市は「街の活力」分野がトップで、住民の意識の高さや子ども・若者の多さなどが目立った。府中市は生活インフラや子育て環境の評価が高かった。

担当者によると、都内自治体の評価が高い傾向について「実際に街の機能が整っている」と分析している。その他の首都圏の自治体では、10位に茨城県守谷市、12位に千葉県浦安市、21位に神奈川県藤沢市などが入った。

調査は全国のビジネスパーソン（有職者）2万人を対象とし、5～6月にかけてウェブで実施。現在の居住地と直近の居住地について「安全・安心」「医療・介護」「街の活力」など8つの分野39項目について評価を尋ね、回答者が20人以上となる357市区のデータをランキングにした。

日経BP総研が22日発表した「シティブランド・ランキング　住みよい街2022」で、東京都千代田区が全国トップとなった。東京都の武蔵野市（2位）や府中市（3位）など、トップ5のうち4つを都内の市や区が占めた。

調査によると、千代田区は「医療・介護」と「自治体の運営」などが高評価。自治体の発信力や、公共交通機関・文化施設などの都市機能も評価された。武蔵野市は「街の活力」分野がトップで、住民の意識の高さや子ども・若者の多さなどが目立った。府中市は生活インフラや子育て環境の評価が高かった。

担当者によると、都内自治体の評価が高い傾向について「実際に街の機能が整っている」と分析している。その他の首都圏の自治体では、10位に茨城県守谷市、12位に千葉県浦安市、21位に神奈川県藤沢市などが入った。

調査は全国のビジネスパーソン（有職者）2万人を対象とし、5～6月にかけてウェブで実施。現在の居住地と直近の居住地について「安全・安心」「医療・介護」「街の活力」など8つの分野39項目について評価を尋ね、回答者が20人以上となる357市区のデータをランキングにした。